

## 2.5 水利用と空間利用

### (1) 既得用水の状況

許可水利権として、箕面川では上水道用水2箇所と灌漑用水1箇所、余野川では養魚用水1箇所の合計4箇所があります。  
慣行の水利権として、余野川では4箇所、箕面川（石澄川含む）では5箇所、千里川（芋川含む）では14箇所が農業用に取水されています。

#### 許可水利権

河川名	目的	占有者	許可取水量 m3/s	取水場所	灌漑面積 (ha)	給水人口
箕面川	A 上水道	箕面市長	0.0251	箕面市温泉町	-	5388
余野川	B 上水道	箕面市長	0.00266	箕面市下止々呂美	-	280
箕面川	C 灌漑用水	箕面四大字水利組合	0.0502	箕面市温泉町	7.6	-
	合計		0.07796			
余野川	D 養魚用	不死王閣(伏尾の鮎茶屋)	-			
合計			0.07796			

#### 慣行水利権

河川名	No.	水利権名	-: 取水量の記載無し		
			取水量(m3/s)	受益面積(ha)	
余野川	1	木部井堰	木部実行組合	(0.220) 15.5	
	2	古江井堰	古江実行組合	(0.090) 12	
	3	東山井堰	東山実行組合	0.27 (10)	
	4	吉田井堰	吉田実効組合	0.5 15	
	合計			52.5	
箕面川	5	今井井堰	今井井堰四ヶ村水利組合	(0.100) 60	
	石澄川	6	大溝井堰	池田市秦野土地改良区	- 4
		6	野田山井堰	池田市秦野土地改良区	- 4
		6	一之井井堰	池田市秦野土地改良区	(0.035) 4
	7	井口堂井堰	井口堂実行組合	- 5	
	合計			77.0	
千里川	8	落合樋	豊中市野畑水利組合	- 26	
	8	胴田樋	豊中市野畑水利組合	- -	
	8	水田樋	豊中市野畑水利組合	- -	
	8	蟬山樋	豊中市野畑水利組合	- -	
	9	下堂田井堰	下堂田井堰代表 垣内定	- 0.3	
	10	小谷口井堰	新池水利組合	- 8.92	
	11	上胴田井堰	上胴田井堰代表 稲田治夫	- 0.35	
	12	南井井堰	新池水利組合	- 9.06	
	13	木戸井堰	大谷民三	- 0.12	
	14	味噌井堰	五藤池水利組合	- 10	
	15	くみ井堰	五藤池水利組合	- 10	
	芋川	16	常込井堰	竹狭間池水利組合	- 1.3
		17	新衛門井堰	沼田池水利組合	- 1
		17	溝の口井堰	沼田池水利組合	- 1
		合計			68.05
	合計				197.55

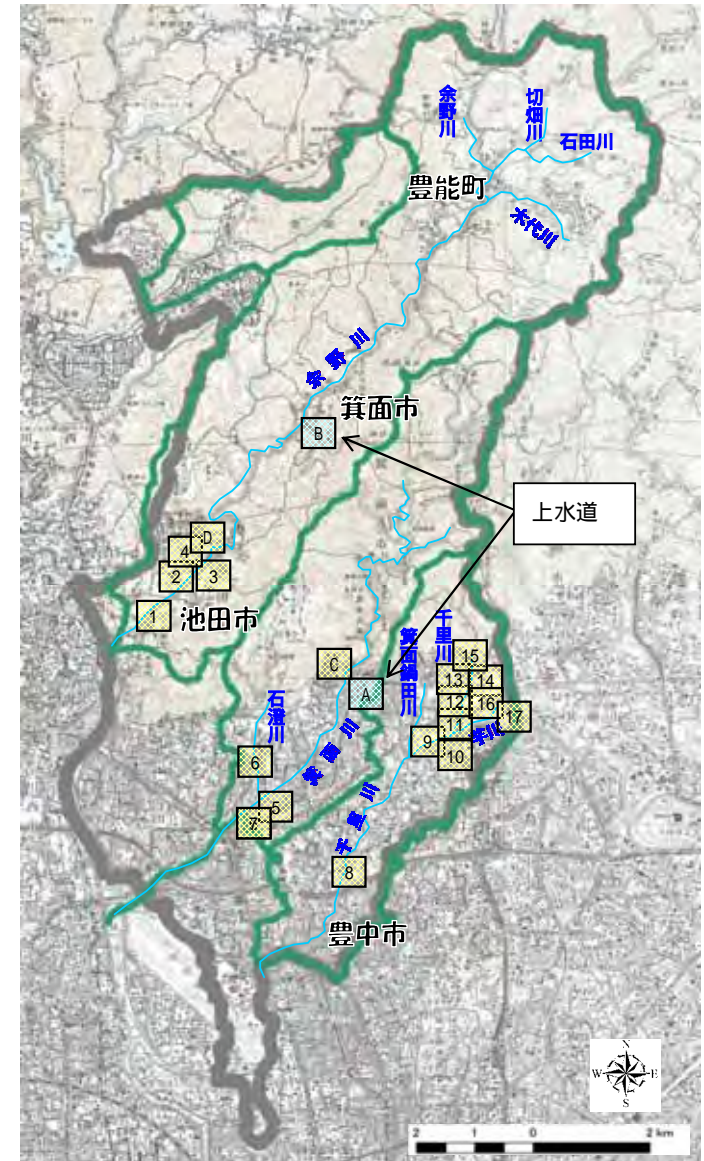


図-2.5.1 取水井堰位置図

(2) 河川空間利用

箕面川では年間を通じて箕面公園に多くの利用者が訪れます。観光イベントが季節恒例で行なわれるなど、箕面川は北摂地域を代表する自然豊かな観光地として広く利用されています。市街地では、千里川、箕面川の親水公園等を利用した水遊びや、箕面川、余野川、千里川で水生生物の採取や水質調査の体験学習を行う「水辺の学校」が行われています。

箕面川の観光イベントへの利用



みのお公園温泉まつり（2月）



新緑カーニバル（5月）



サマーフェスタ箕面公園（7～8月）  
滝道（箕面駅～箕面滝）一帯をライトアップ



親水公園等の利用



千里川・箕輪親水公園



千里川・かやの中央 かやのさくら橋



千里川・野畑親水公園



千里川・かやの中央 せせらぎ公園と親水河川



箕面川西公園・親水公園

水辺の学校に利用



余野川・水辺の学校



箕面川・水辺の学校



千里川・水辺の学校



### (3) 住民との協働

河川環境維持に関する住民との協働については、千里川や箕面川でアドプト・リバープログラムの認定が平成 15 年に始まり、現在 9 団体と増えてきています。なお、千里川では「アクアユートピア」と題した川の美化活動の催しが 20 年ほど前から毎年 7 月に千里川橋から下走井橋の間の清掃や箕輪親水公園で手作りの水辺イベントが実施されてきており、地域の住民や子どもたちに人気を博しており、平成 9 年に府知事表彰、平成 12 年に環境庁長官表彰を受けるなど、その活動が熱心であり、川への関心が高い地域であるのが伺えます。このようなアドプト・リバープログラム認定以前からの活動は箕輪親水公園や野畑親水公園の整備されている地点で特に盛んであり、河川周辺の都市公園や小学校もあり、地元自治会、PTA、学校活動で多様な利用が行なわれています。

余野川では平成 16 年にワークショップを行い、その内容を「久安寺川ワークショップかわら版」に作成して、現在の整備工事に活かしています。

#### アドプト・リバープログラム

No	河川名	名称	団体
	千里川	アドプト・リバー・千里川美化協議会	千里川美化協議会
	千里川	アドプト・リバー・かやの中央	かやの中央まち育て交流会
	千里川	アドプト・リバー・みのお千里川	箕面市立第五中学校
	千里川	アドプト・リバー・少路	少路評議委員会
	千里川	アドプト・リバー・春日 3 丁目蛸堂	春日 3 丁目蛸堂会
	箕面川	アドプト・リバー・箕面川ダム	大阪府河川ボランティア(支援ネットワーク 21)
	箕面川	アドプト・リバー・みのお川	みのお川を美しくする会
	箕面川	アドプト・リバー・徳尾	Minoo International Litter Fighters
	箕面川	アドプト・リバー・箕面川	箕面川を美しくする里親の会

大阪府では、府民の皆さんとともに、地域に愛され大切にされる川づくりをめざしています。そこで、自発的な地域活動を河川の美化につなげる「アドプト・リバープログラム」を平成 13 年度から地元市の協力のもとでスタートしています。現在、地元自治会、企業、環境美化団体、学校、社会福祉施設、まちづくり団体などの府下で参加が広がってきています。猪名川下流ブロックでは平成 15 年に認定が始まり、現在 9 団体を数えています。



#### アドプト・リバー・かやの中央



親水整備された千里川の清掃

#### 野畑親水公園の清掃(地元ボーイスカウト)



#### アドプト・リバー・みのお千里川



箕面市立第五中学校  
 (新西脇橋~千里橋)をきれいにしようと「千里川クリーン作戦」を実施しました。生徒保健委員会を中心に、全校生徒のほか地域住民や府池田土木事務所にも呼びかけ。

#### 箕輪親水公園清掃後のイベント

(箕面市長参加 H20.7.20)



#### 余野川ワークショップ

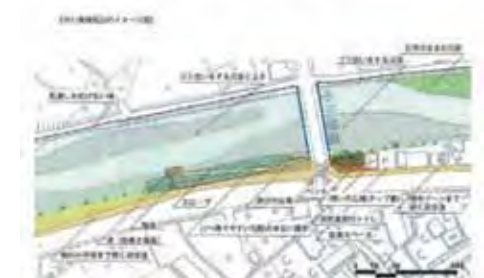
平成 16 年度から、一級河川余野川(通称名:久安寺川)及びその周辺一帯の「わがまちの川」としての活用方法などについて、多様な主体の協働により余野川ワークショップを行ってきました。

ワークショップの内容は、「久安寺川のワークショップかわら版」として作成され、周辺の関係者に配布し、情報の共有化を図りながら、平成 17 年度より環境整備工事に着手し、平成 19 年度完成しています。

#### 【久安寺川のワークショップかわら版】



#### 【余野川環境整備工事 完成イメージ図】



(4) 水害の状況

昭和 13 年 7 月出水 (梅雨前線)

7 月 3 日から 5 日にかけて、梅雨前線が北上して活発化し、梅雨末期型の豪雨となりました。

この豪雨により、猪名川のみならず、久安寺川 (現余野川) 箕面川の低簿の崩壊で池田市は大きな被害を出し、豊中市の千里川でも崩壊があり、その他護岸、道路、橋梁の破損流失、農耕地の被害が甚大となりました。現在の豊能町となる山間地域でも河川氾濫とともに山津波が発生し、大きな被害となりました。

昭和 28 年 9 月出水 (台風 13 号)

9 月 16 日にトラック島の南東で発生した熱帯低気圧は 22 日に中心気圧が 897mb の台風が発達し、25 日 17 時頃に志摩半島に上陸、19 時に愛知県に再上陸しました。

この台風により、猪名川で堤防決壊するとともに池田市や豊中市で家屋の全壊・半壊や床上・床下浸水、田畑冠水となり大きな被害が発生しました。

昭和 35 年 8 月出水 (台風 16 号)

8 月 17 日にグアム島の遙か東方で発生した熱帯低気圧はその日に台風となり、27 日には中心気圧が 970mb に発達して 29 日 14 時頃に高知市の西方に上陸しました。

この台風により、猪名川流域では記録的な豪雨となり、猪名川流域上流部に大きな被害を与えました。池田市でも猪名川が氾濫し、家屋の流失や床上・床下浸水、豊中市でも床上・床下浸水、田畑冠水となり大きな被害が発生しました。

昭和 42 年 7 月出水 (梅雨前線・台風 7 号くずれの低気圧)

7 月 8 日朝、台風 7 号は東支那海の東部、沖縄の北北西の海上をゆっくりとした北上に伴い、南岸に停滞していた梅雨前線も北上して活発化しました。台風くずれの低気圧は 9 日 15 時には北九州と山口県を進み、太平洋高気圧の縁辺流に乗った南西の湿舌気流がこの低気圧の進行前面の豊後水道から紀伊半島にかけて顕著に流入しました。気象庁は、今回の大雨を『昭和 42 年 7 月豪雨』と名づけました。

この豪雨により、猪名川流域の中・下流部を中心に被害が発生し、大阪府の「箕面川ダム」建設の端緒となりました。この豪雨では上池田や豊中で時間最大雨量 52mm を記録し、上池田で日雨量 270mm にも達しました。猪名川下流ブロックでは死者 1 名、負傷者約 100 名、家屋の浸水約 25,000 戸、田畑は約 600ha が冠水し、特に被害が豊中市に集中しました。千里川の左岸が約 350m 決壊、箕面川での氾濫などとともに、家屋流失、鉄道や橋梁、道路の被害が続出し、戦後の最も大きな災害の記録となりました。

昭和 47 年 7 月出水 (梅雨前線)

7 月 3 日から 13 日にかけて梅雨末期の大雨となり、日本各地で大きな被害をもたらす、「昭和 47 年 7 月豪雨」と名づけられました。このうち、7 月 10 日から 13 日にかけて猪名川流域での各地に被害が発生しました。池田市では土砂崩れによる民家の半壊や浸水、豊中市でも浸水が発生しました。

昭和 58 年 9 月出水 (台風 10 号梅雨前線)

9 月 16 日にトラック島付近で発生した熱帯低気圧は 20 日に台風となり、23 日には中心気圧が 885mb に発達して大型台風へ成長し、28 日 10 時過ぎに長崎市付近に上陸しました。

この台風により、池田市では箕面川が増水し、箕面川橋に被害が出ました。池田市、箕面市、豊中市で浸水が発生しました。池田市と箕面市ではがけ崩れが発生しました。

猪名川・久安寺川 (現余野川) 合流点付近



増水により民家が浸水しています。

豊中市原田付近



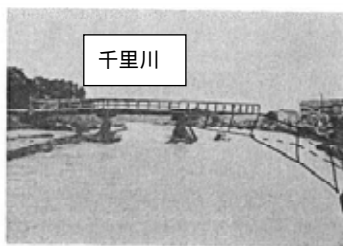
猪名川左岸決壊及び千里川の氾濫により、原田付近は全面的に浸水しました。上方は伊丹空港、右方は原田下水処理場。

千里川



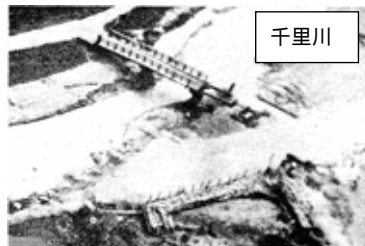
空からみた千里川の途中自動車教習所付近の 7 月豪雨による決壊状況

千里川



7 月豪雨による千里川下流の箕輪小橋付近の惨状 (豊中市箕輪)

千里川



豊中市箕輪小橋付近 (昭和 42 年 7 月 豪雨)

箕面川



7 月豪雨で倒壊した豊中市の商店 (箕面市桜ヶ丘)

箕面川



箕面川右岸の崩壊で流失した城上町の民家 (池田市豊島北 1 丁目)



表-2.5.1 主な水害状況一覧表

水害発生年月	異常気象名	河川・海岸等名	市町村名	水害原因	水害区域面積(m2)			被害家屋棟数(棟)						
					農地	宅地その他	計	床下浸水	床上浸水	半壊	全壊	計		
S42.7.9 ~ 7.12	7月豪雨	千里川	豊中市	破堤	990,000	1,840,000	2,830,000	6,406		974	5	7,385		
		天竺川外	豊中市	溢水	870,000	50,000	920,000	5,077		689	0	5,766		
S47.6.6 ~ 7.23	継続した豪雨並びに台風6,7,9号	猪名川	池田市	浸水・急傾斜地崩壊	0	2,000	2,000	1	5	0	0	6		
S58.9.24 ~ 9.30	台風第10号	石橋地区	池田市	内水	0	1,000	1,000	1	0	0	0	1		
		勝部地区	豊中市	内水	0	1,000	1,000	1	0	0	0	1		
		城南地区	池田市	内水	0	4,000	4,000	30	0	0	0	30		
		千里園地区	豊中市	内水	0	1,000	1,000	3	0	0	0	3		
		伏尾町地区	池田市	内水	0	1,000	1,000	3	0	0	0	3		
		蛸ヶ池南地区	豊中市	内水	0	1,000	1,000	1	0	0	0	1		
		本町地区	豊中市	内水	0	1,000	1,000	1	0	0	0	1		
		箕輪地区	豊中市	内水	0	1,000	1,000	2	0	0	0	2		
		宮山地区	豊中市	内水	0	1,000	1,000	1	0	0	0	1		
		桃園地区	池田市	内水	0	1,000	1,000	1	0	0	0	1		
		木部町地区	池田市	内水	0	2,000	2,000	4	0	0	0	4		
		H6.9.5 ~ 9.9	豪雨	無名河川	豊中市	内水	0	227,100	227,100	1,589	500	0	0	2,089
				無名河川	池田市	内水	0	335,700	335,700	1,758	987	0	0	2,745
無名河川	箕面市			内水	0	25,300	25,300	98	9	0	0	107		
H9.8.3 ~ 8.13	豪雨及び台風第11号	江原川	池田市	内水	0	9,465	9,465	80	12	0	0	92		
		神田水路	池田市	内水	0	12,650	12,650	72	0	0	0	72		
		宮の前水路	池田市	内水	0	4,000	4,000	32	0	0	0	32		
		無名河川	池田市	内水	0	3,010	3,010	35	0	0	0	35		
H11.6.22 ~ 7.4	梅雨前線豪雨	無名河川	豊中市	内水	0	48,132	48,132	211	36	0	0	247		
		無名河川	池田市	内水	0	1,970	1,970	19	6	0	0	25		
H18.8.22	河川海岸以外	河川海岸以外	豊中市	その他	0	66,334	66,334	216	86	0	0	302		

出典：「水害統計」(国土交通省) 昭和36年以降発刊

平成6年9月出水(集中豪雨)

9月6日、日本海上にあった寒冷前線が午後になって南下し、同日夕刻から7日未明にかけて豪雨となりました。

この豪雨により、時間雨量が池田(池田土木事務所)で106mm、上池田(国土交通省)で133.5mm、豊中(気象庁)91mmを記録するなど、池田市を中心に集中豪雨が発生し、市内各所で公共施設等までも床上・床下浸水が発生しました。総雨量は上池田で294.5mmを記録しました。この影響で、豊中市、池田市、箕面市で約5,000戸が浸水し、豊中市と箕面市で崖崩れが発生しました。



水がまわってある車(市庁舎)



水が引いた直後の商店街(石橋地区)

平成9年8月出水(前線)

8月5日に日本海沿岸にあった前線が近畿南部まで南下し、6日から7日未明にかけて前線の北上に伴い、近畿中部で雷を伴う大雨となりました。

この台風により、猪名川流域では中・下流部で被害が発生しました。時間雨量は上池田(国土交通省)で81mm、箕面(気象庁)で99mmを記録しました。池田市では約220戸の家屋が浸水しました。

平成18年8月出水(集中豪雨)「大阪府北部豪雨災害」

8月22日の午後2時過ぎから雷を伴う豪雨が北摂地方を襲いました。

この豪雨による時間雨量は豊中(気象台)で103mm、春日橋(大阪府)で78mmを記録するなど、豊中市を中心に集中豪雨が発生しました。

豊中市では床上浸水86戸、床下浸水216戸、水位が上昇した箕面川では、橋脚の土台に取り残された小学生が消防隊員に救助されるなどの被害が発生しました。

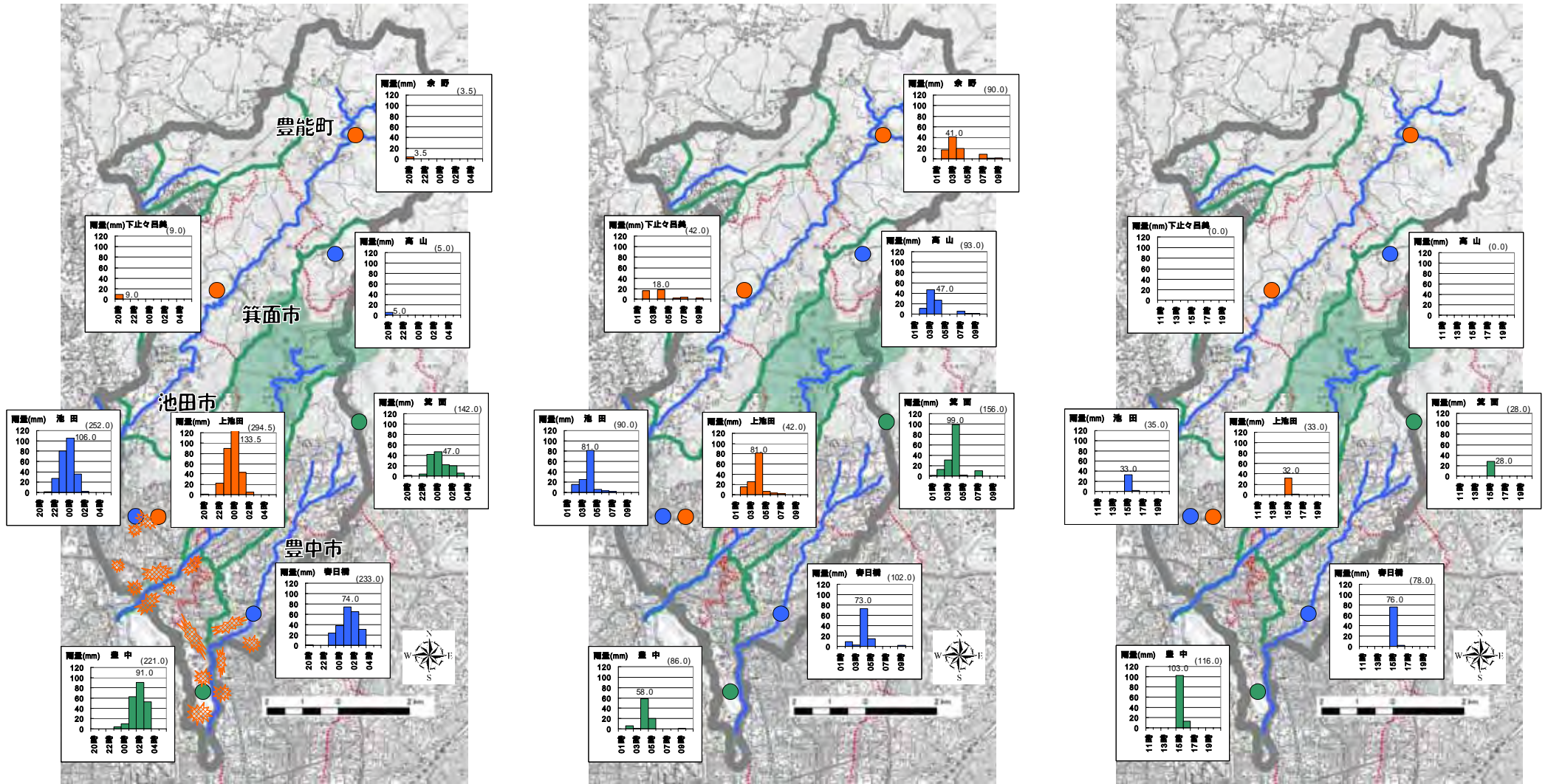


豊中市の市街地のあちこちから道路冠水がおこりました(8月22日午後3時30分頃)



パトロールカーの車内から撮影。雨の凄まじさがわかります(8月22日午後3時頃)

[ 近年の集中豪雨 ( 100mm/h 程度以上の出水 ) における猪名川下流ブロック域内の雨量状況 ]



平成6年9月6~7日

平成9年8月7日

平成18年8月22日




- 凡例
- 国土交通省観測地点
  - 大阪府観測地点
  - 気象台観測地点
- (116.0) 総雨量(mm)
- ※ H6年9月出水浸水箇所

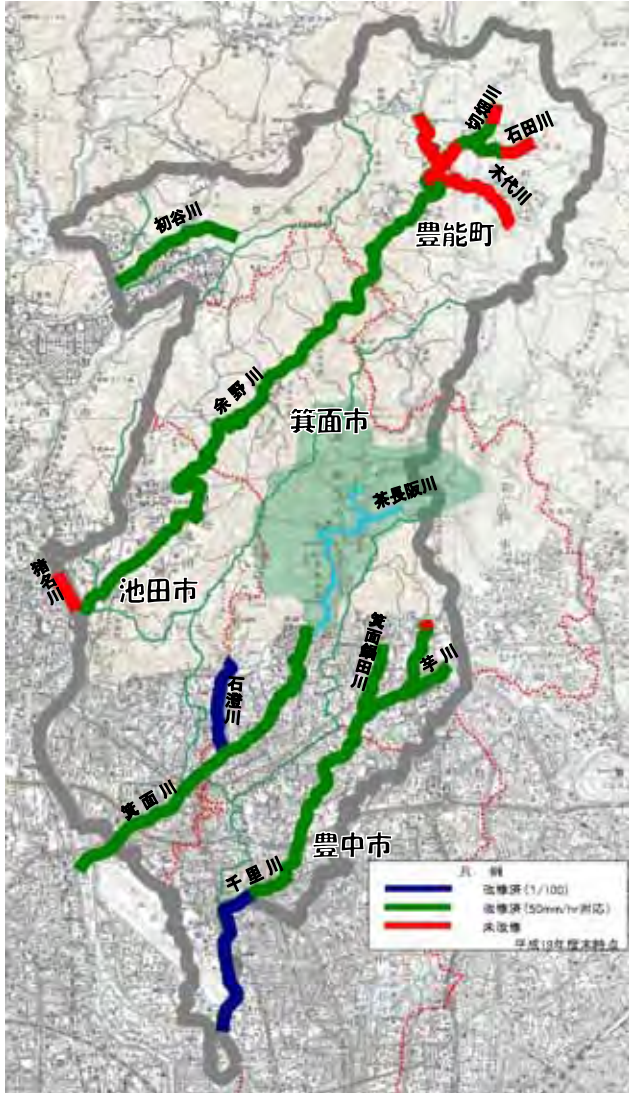
(5) 河川の整備状況

昭和 55 年設置の「猪名川総合治水対策協議会」により、昭和 57 年に猪名川流域整備計画が策定され、流域関係機関が協力して流域整備が推進されています。  
 猪名川下流ブロックにおける大阪府管理河川においては、流域対策に合わせた 50mm/hr 相当の河川改修を行ってきており、総合治水対策特定河川である千里川は 190m<sup>3</sup>/s、千里川支川の箕面鍋田川は 23m<sup>3</sup>/s と対策流量が策定されて今日に至っております。これらの河川整備は一部の上流区間を除いてほぼ完成しています。

余野川では、昭和 58 年の台風 10 号により、浸水家屋 3,227 戸等の災害が発生しました。近畿地方建設局では平成 3 年より、洪水調節、流水の正常な機能の維持及び用水確保を目的として、余野川支川北山川（箕面市下止々呂美付近）に建設する多目的ダムや、猪名川下流（兵庫県伊丹市中村付近）に設ける河川浄化施設を主要施設とした「猪名川総合開発事業」を推進しています。  
 大阪府では、余野川ダムによる洪水調節を考慮して「余野川下流区間全体計画検討」ならびに「余野川上流区間全体計画検討、河川整備計画検討し、計画流量の検討を行っています。  
 余野川上流部における今後の整備については、当面の目標に対応する事業を進めています。

初谷川では、当面の目標に対応について 50mm/hr 対応を完了しています。

凡 例	
	改修済(1/100)
	改修済(50mm/hr対応)
	未改修
平成19年度末時点	



箕面川では、昭和 29 年に計画流量 180m<sup>3</sup>/s（阪急橋梁地点）とする改修計画を策定し、改修が行われました。  
 昭和 49 年度よりは、流域内の開発に伴う市街地の拡大人口の集中、資産の増大などに対応するために流量の見直しを行い、1/100 年確率日雨量 349.7mm/日に対する基本高水を 400m<sup>3</sup>/s とし、箕面滝上流の箕面川ダムによる洪水調節を考慮して計画高水流量 315m<sup>3</sup>/s と設定して改修工事に着手し、当面の目標に対しては完了しました。

千里川は昭和 9 年の室戸台風を契機に改修事業に着手し、拡幅、堤防嵩上げが猪名川合流点～千里川橋間で行われました。  
 戦後においては昭和 21 年～昭和 26 年の第 1 次改修工事が計画流量 95m<sup>3</sup>/s として行われました。  
 昭和 28 年に 100m<sup>3</sup>/s 以上の出水が発生したため、計画流量 125m<sup>3</sup>/s に改め、昭和 35 年～41 年の第二次改修工事で猪名川合流点～明治橋の区間で改修が行われました。  
 昭和 42 年 7 月の集中豪雨時に 5 ヶ所で破堤して下流域に甚大な被害を及ぼしたため、昭和 43 年に 100 年に 1 度程度発生する洪水を対象とする改修計画が策定され、中小河川改修及び災害助成事業として再改修に着手し、昭和 53 年末までに猪名川合流点から阪急宝塚線間及び明治橋から芋川間が本計画に基づいて概成しました。  
 昭和 54 年度よりは、流域内及び氾濫区域に占める市街化の割合が急増したことにより、1/10 確率降雨に対応できない河川区間が残されるため、総合治水対策事業により暫定改修が実施されてきました。  
 平成 12 年には、千里川上流の改修（河川付け替え工事）が終わり、一級河川区間について 50mm/hr 対応は最上流部を残して完了しました。

図-2.5.2 河川の整備状況



(6) 箕面川ダム

箕面川ダムは、昭和42年北摂豪雨災害を契機に大阪府北部の箕面市、池田市、豊中市、兵庫県伊丹市の市街地を含む流域の治水対策として計画立案され、ダム流域の日雨量確率1/100年降雨(日雨量349.7mm)時に105m<sup>3</sup>/sの洪水を調整する機能を有するとともに、不特定用水300千m<sup>3</sup>を確保するダムとして、箕面国定公園内に位置するという点で、自然や景観に特に注意を払い、昭和47年度に建設を開始し、昭和57年度に完成しました。

平成5年6月には、当ダムにおける自然環境保全に対する貯水池斜面の緑化などの様々な取り組みが評価され、環境庁が後援する環境賞の優良賞を受賞しています。近年では、平成9～14年度にかけて箕面川ダム周辺整備事業の一環として、一般への開放を前提としたダム管理用道路・親水護岸・植栽区域の整備を行いました。箕面の自然や景観に十分配慮し、ハイカーの安全な通行、違法駐車や府道からのゴミ投棄の減少を目的に、工夫を凝らした施設を設置しています。

箕面川ダム諸元

河川名	淀川水系箕面川
位置	大阪府箕面市 粟生間谷
流域面積	6.7K m <sup>2</sup>
ダム	型式 中央心壁型ロックフィルダム
	堤高 47.0m
	堤頂長 222.5m
	堤体積 600 千m <sup>3</sup>
	ダム天端標高 EL337.0m
貯水池	湛水面積 14ha
	総貯水容量 2,000 千m <sup>3</sup>
	有効貯水容量 1,800 千m <sup>3</sup>
	洪水調節容量 1,500 千m <sup>3</sup>
	不特定容量 300 千m <sup>3</sup>
	堆砂容量 200 千m <sup>3</sup>
	サーチャージ水位 EL332.6m
	常時満水位 EL317.6m
	計画堆砂位 EL311.0m
洪水吐	型式 越流型シュート式
	設計洪水流量 275m <sup>3</sup> /s
	計画高水流量 125m <sup>3</sup> /s
	越流頂標高 EL332.6m
	越流頂長 50.0m
	設計洪水位 EL334.5m
放流規模	洪水調節用 最大 20m <sup>3</sup> /s
	不特定利水用 最大 0.2m <sup>3</sup> /s
洪水調節	設計洪水量 16m <sup>3</sup> /s
	調節量 109m <sup>3</sup> /s

ダム湖名

ゆうゆうレイク (ゆうゆうれいく)



自然環境の保全と回復への取り組み

箕面国定公園内に位置する箕面川ダム。この豊かな自然を保ち、工事後のすみやかな環境回復を実現するため、事前に周辺の自然環境保全・回復のための調査研究をおこない、これに基づくさまざまな自然回復工事を実施しました。

自然回復工事の結果、下の写真にみられるように、湛水前の植生に近い状態で早期の緑化が実現できました。

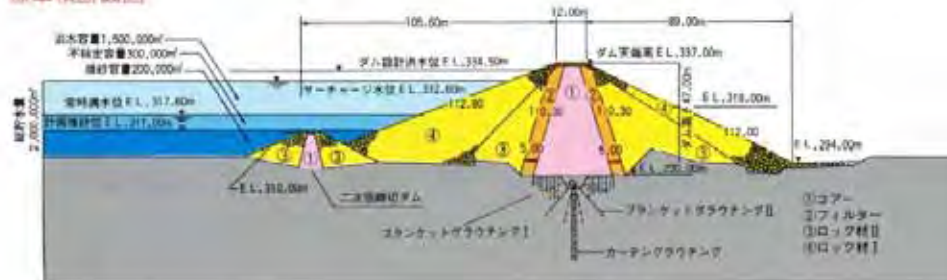


ダム周辺整備による歩道の設置

箕面川沿いに設けられた府道沿い歩道により、安全に快適に景観を楽しむことができます。



標準横断面図





# 淀川水系猪名川下流ブロック 現状と課題

